

高校生からの質問を 紹介します



先月号では、12月16日(火)に高校生議会を開催し、茨城県立水戸校ノ牧高等学校常北校の生徒が高校生議員として議会に参加したとお伝えしました。今月号では、参加した8名の高校生議員が、町のさらなる活性化のために、それぞれどのような質問をしたのかをご紹介します。

1 番議員 ● 秋山さん

城里町の人口は減少傾向にある。町への移住者の増加や、若者の城里町離れを阻止するためにも、城里町に就職先を増やす必要がある。特に若者に人気である事務職の就職先を増やすと同時に、町自体の産業活性化が必要であると思うが、いかがだろうか。

「町長答弁」

城里町は子育て支援に力を入れ、移住促進及び定着を図っている。現在、城里町のほとんどの就労者は、近隣の市町村(主に水戸市)へ働きに出ており、働くところは他の市町村でまかない、町では子育て支援に力を入れるといった考えである。しかし、町自体の産業活性化も課題の一つであるため、町内への企業誘致策についても再検討したい。

2 番議員 ● 川又さん

城里町の道路状況は、自転車で通学する学生や一般の方にとって、必ずしも安全ではないと感じている。例えば、町内の道路の歩道が狭かったり、自転車専用レーンが少なかったりする。そのような状況の中、今後町としてどのような安全対策を取り組んでいくのか、見解を伺う。

「町長答弁」

これまでも、子どもの利用者が多い常北中学校と常北小学校を結ぶ道路を拡幅するなど、町内の道路整備に努めてきた。しかし、まだ行き届いていないところもあるため、今後は実際に通学者のニーズなどお伺いしながら、さらなる安全な道路整備に努めていきたい。

3 番議員 ● 立原さん

城里町には、若者が集まれる場所が少ないため、放課後の高校生の居場所がないように感じる。友人と遊んだり話したりする際には水戸駅周辺まで行く必要があり、交通費や時間がかかってしまう。若者の城里町離れを防ぐため、若者が集うような魅力的なカフェなどの設置を提案する。

「町長答弁」

城里町には、これからオープン予定のカフェがあったり、今後新しく建設される予定の道の駅からでも、洋食レストランでカフェタイムを楽しめたりできるようにしたりする予定である。また、城里町は面積が広い、常北地区、桂地区、七会地区にそれぞれカフェがあると良いと私も感じる。貴重なご意見に感謝する。

4 番議員 ● 額賀さん

城里町は自然が豊かなので、ペットツーリズムの適性がある。観光客が自分のペットと楽しく過ごせる場所を提供したり、ペットを飼っていない人も気軽に動物とふれあうことができる場を設けたりすることで、城里町をペットの聖地として盛り上げていくことができるのではないだろうか。

「町長答弁」

現在、城里町では新しく道の駅かつらを建設しているところであるが、それに合わせて「かわまちづくり計画」というものを立てている。「かわまちづくり計画」とは、河川空間とまち空間を一体的に融合させ、地域活性化や観光振興を目指す取り組みのことであるが、その計画の中でドックランについても計画している。いただいた提案を参考に、みんなに使ってもらえるドックランを整備していきたい。

城里町高校生議会



8



7



6



5

5番議員 ● 吉田さん

城里町の若者の人口は年々減少しており、少子高齢化が進んでいる。若者が町を離れてしまうのは、城里町に職業、教育、娯楽など様々な面で選択肢が少ないからと考える。町を一旦離れてしまっても、将来城里町に戻ってきたくなるようなリターン政策を充実させるべきではないか。

「町長答弁」

城里町では、若者が町に帰ってきやすい環境をつくるために特に子育て支援として保育料の無償化等をいち早く進めてきた。これからも子育て支援に力を入れ、保護者の経済的負担を軽減することにより、城里町へ帰ってきて子育てをしたいと思えるような町にしていきたい。また、他にも若者が町に帰ってきたくするような政策があれば、進んで取り入れていきたい。

6番議員 ● 片見さん

城里町は自然に恵まれており、それを活かしたレジャー施設が多いとは言えない。私は釣りが好きなのだが、近所の釣り堀が閉業してしまったので、釣りを楽しめる場所が少なくなっている。釣り堀ならば初心者でも安全に楽しめるし、世代を超えた交流も生まれる。釣り堀の整備が城里町の魅力向上には合っているのではないだろうか。

「町長答弁」

町内では、「城里町総合野外活動センターふれあいの里」の中に釣り堀がある。そこではニジマスを釣ることができ、釣った魚はその場で焼いて食べることができる。県外からの観光客には宣伝をしているところであるが、地元の住民に向けた宣伝が足りていなかった。宿泊しなくても、釣り堀体験やピザ焼き体験、レンタサイクルを利用することができると、これからはさらに宣伝に力を入れていきたい。

7番議員 ● 西野さん

城里町は水戸市のベッドタウンという利便性を持つ一方で、若者が移住しなくなるような魅力が見えにくい状況があるのではと感じている。その理由の一つとして、若者が集い、新しいアイデアが生まれる場所が少ないことが要因と考えられる。城里町には、空き家や空き店舗が少なくない。そこで、これらを交流スペースやコワーキングスペースとして活用すればいいのではないだろうか。

「町長答弁」

確かに城里町にはそういったスペースが存在しない。町としては、空き店舗を改修して新しくビジネスを始める方向けのリフォーム代に対する補助制度等で応援してきたところではあるが、そういった制度の宣伝が足りていなかった。貴重なご指摘であるため、今後の参考にしていきたい。

8番議員 ● 森元さん

以前、町内の道路を暗い時間帯に自転車で行く、自転車のタイヤを縁石にぶつけて転倒してしまった。その場所は、周辺に防犯灯や住宅街がないため、暗くて道路状況を確認しにくい場所であった。そのような経験から、自転車や歩行者が安心して通行することができるよう、町内に防犯灯をさらに増やすべきであると考えている。

「町長答弁」

現在、城里町では、防犯灯の設置基準に照らして、要望された場所に防犯灯をつけて良いかの審査をして1つずつ防犯灯を増やしている状況である。設置費用や設置後の電気代等を考慮すると、すべての電柱に防犯灯を設置することは現実的ではないが、現在の防犯灯の数や必要箇所を再点検し、増設することもあると考える。